生

工 テ

テ

居

N

デ タ 洲

ハ Ш

ナ

1

力 n お

ŀ

思

フ

テ 1

本 年

題

立

チ 工

Æ ナ =

ኑ"

ッ

テ

此

植 1 ŀ

物

葉

輪 ヌ

廓

は 1

す 考

= デ V

似

テ

居 等 象

N モ

シ 張

テ

此

見

n 17

ŀ

テ

多 ľζ

分 は

水 す

深 今

= 工

ハ

生

1

Æ 年

ラ ナ

≥⁄

ŀ ィ

言 フ

ハ コ

V

ガ

私

ハ

是 現

矢

ŋ

工

ŀ

北

滿

見

n

Æ

年

生

B

場所

來

出

1

ŀ

ハ

常

=

見

ラ

四

Ŧi.

年

3

テ

部 デ ナ ナ ŀ 葉體上 = ナ 在ル淡灰 ガ ŋ Æ あ ば = ボ 座 た 放 徑 ミス女史ニ 色 射狀 **≥**⁄ |乃至淡肉色ヲ呈ス 盤 樣 ヲ ハ = 肉 早 7 寸 色 'n シ = 據レ 是レハ粉芽體 達 Section Placopsis (Incarnatus) ス バスチゴ n 灰白 ル頭狀體 (Cephalodium) デア 斑 (Soral) デアル、 ŀ ヲ呈シ縁 ナッ ノ特徴 テ着 生 ハ顯著デアル ラポシ **≥** テ居 叉子器ハ徑 ・テ居 然 體 v n シ ソ 表面 此 地 v 五. ヲ 衣 3 稍 y 綠 Æ 强 地 顆 更 ₹ 力 物 粒 = IJ ナ = 特 × 固 w 異 球 1 着 藻 ナ ŀ N シ Æ 1 w 僅 r , ぺ jν ۸, ガ 此 力 デ 窺 頭 地 ŋ 狀 衣 1 フ 3 體 圓 ŀ ガ 中 板 小 央 形 サ

にば 根 玆

東北帝國大學理學部助

教授

學

__

岡

田

要

之

助

ヘス

ネマ及ビノス

トク)ヲ含ン

デ

居

八 潟 干二 K Æ n Æ ばす H 年 發 中 , 町 デ那 襘 ŀ 水 鴻 生 ŀ 惡 (Euryale ラ 工 同 ガ = **≥**⁄ ヌ ŋ 地 减 於 ク 世 年 也 的 IJ テ 鹹 界 場 ハ ŀ 1 ferox 水大 富 中 ガ セ》 ガ 正 デ 7 士 1 四 彦氏 屰 干 N æ Salisb.) 流 有 ŀ 尺 位 车 數 1 ハ シ フ 報 ø 葉 1 ŀ 爲 Ė Æ ジ 1 云 ŀ 直 , フ 3 X ŀ 生 徑 ŀ ダ 云フ = コ 長 九 謂 サ ŀ **≥** デ 植 先 尺 ヲ ッ V タ、 日 餘 物 7 妨 テ = ゲ 3 N ハ 奇妙 ラ 力 ソ ~ 大 牧 正 , v U D 葉 + フ 野 ナ タ ゥ 先生 ガ =J 先 ŀ 1 车 大 生 ŀ ソ 思 ガ `> キ = v ハ 東京 尺 御 ハ デ v 1 七 n 話 æ 點 年 小 力 デ 尺三 ッ ラ 石 ハ オ F 氼 1 キ 云 Ш 寸 最 植 = 總 = 國 大 大 物 Æ ٧V 直 正盛 園 府 キ 我 + 臺 ナ 徑 ン ガ ノ 腊 葉 五. ナ 邦 T ヲ 葉室 有 年 發 本 タ ガ y 生 出 即 ス 1 來 N 本 ヲ = = 見 葉 年 遂 產 お w ソ ヲ ゲ ス ic ハ J. ď 夏 n タ 測 N 間 期 時 富 植 す y 得 オ Æ 1 干 山 物 能年 蕁 タ 魃 縣 中 氷 ネ ク 生 九爲 1 見 シ

お 11 す 根 娄





(的場富士彥氏寄贈)

おにばす (Euryale ferox Salisb.)

越中國氷見郡十二町村同水草繁茂ノ處

見 ラ 、現在知ラ 毛 テ ラ ヲ ŀ ク ラ 推 大 同 根 確 イ ソ 力 ァ テ 來 通 夏 力 年 y ソ ガ゛ ダ テ テ ŀ ヲ 今ャ 去 見 實 7 U 立生 水盤 極 デ デ ゥ N ヲ 派 年 現 IJ ク ソ 短 剕 細 本 思 ヲ モ H イ根莖 餘り檢べ ラ 生 植 ガ ソ 宮城縣 殘 æ, ヲ ガ IJ テ モ實 沼 テ 力 實物 見 生際 デ ガ ソ ラ テ見 ソ 逐 ガ ナ 中 ガ お 田 ヲ お K Ŋ 郡 生 lC 车 ば ガ 大 U 中 ヌ 株 大 寫眞 其 R テ = 產 村 ヲ 面 居 ナ テ 生 通 地 葉 倒 ヲ N 餇 7 1 デ 見 シ æ ヲ 沼 屆 ヲ

初期

葉

力

ラダ

ダ

ン

大キナ葉ガ出來テキタ

順序ガ痕跡

크

テ認メラ

F,

ウモ

おにばすノ根茎



(陸前遠田郡大貫村鹿飼沼産、 大正十五年九月二十四日撮影)

おにばす (Eulyale ferox SALISB.)ノ根莖

プト

ノパヒルスヲ想起セシムルくかんゑんがやつり

葉柄ニ蔿酢 オ ナ ィ **夜**菜、 3 ゥ ダ 藕梢菜、 ガ皮ヲム 雞頭菜等サマザマナ異名 中 ゝ 多)肉デ 軟 カ ュ z ガ與 同 ジ ク本草 ヘラレテ居 ·綱目二 「嫩者剝 我ガ邦デモ 皮可食」 新潟縣北 ŀ 7 蒲原 n 郡 支 福島潟 那 デ 此

叉薬用ニ 附近デハ現ニソノ目的デ葉柄ヲ採集スル由甞テ眞保一輔氏ョリ報ゼラレタ、 ナ ルト云フコトデアル ソレ カラ種子ハ無論食ベラレルシ

水上ニ出テ一花ヲヒラク形鳥喙ノゴトシ長サ一寸餘末尖ル故ニ雁喙ノ名アリ花下ニ刺桃アリテ拳ノゴトシソノ花始先一瓣ヲヒラキ鳥ノ喙チヒラ多シ莖ヲ切バ穴アリ蓮莖ニ同ジ皮ニ紫刺多シ水多キ年ニハ莖甚ナガシ時珍ノ説ニ其莖至丈餘ト云ルモノナリ水少キ年ハ莖短シ六月別ニ莖ヲ抽テ ナリ花終テノチ蒂落ズシテ妹上ニアリ林漸ク大ニシテ三寸バカリ熱スレバ内ニ柔肉アリ肉中ニ圓子アリ大サ無患子ノゴトシ外皮炎黑色乾クトキクガゴトシ日中ニイタリテ満開ス暮ニイタレバ萎ミテ鳥喙ノゴトシカクノ如キコト數日満開スルトキハ四瓣ニシテ四層深紫色外瓣ハ深綠色即蒂クガゴトシ日中ニイタリテ満開ス暮ニイタレバ萎ミテ鳥喙ノゴトシカクノ如キコト數日満開スルトキハ四瓣ニシテ四層深紫色外瓣ハ深綠色即蒂 |灰色トナル内||白仁アリコノ子即芡質ナリ雞頭ノ大サニ丸ズト方書||アルハコノ大サヲ云ナリマタ石榴子ノゴトキ白子モ .澤中ニ多シ葉ハ蓮=似テ大ナリ水面ニ浮生ス面深緑色ニシテ光アリ刺多シテ皴アリ背ハ深紫色ニシテ芋葉ノゴトキ緑色ノ粗ナル 小野蘭山ノ『本草綱目啓蒙』ニ曰ク「芡實 × × ミヅフキノミ × 苗名ミヅフトキ × 鈔和 名 ŝ ヅブキ オニパス ゲド ゥ 豪仙

紋脈アリ

パラ

バ

)エヂプトノパピルスヲ想起セシムルくゎんゑんがやつり

ポセザル者ナリコノ根ノ形蓮藕ニオナジ唐山ニテハ嫩莖ヲトリ食フ藕梢菜ト名ヅク正字通ニ出<u>」</u>

方 Œ 資

中々立派デ叉相當 閉塞スル雑草トシテ忌ミ嫌 ルス (Papyrus) ガ製紙ノ原料トナッタノハ遠キエデ 高 西價 デア n n ` 吾國デ莎 草 科ノ植物 プトノ昔話デ今ハ其原産地ナル 「ショウ、 ウヰンドウ」ノ中 ナ 1 = 鉢植ヱニ n 泂 畔 デ ナッ ハ舟 テ居 運

便

ヲ ٤°

ŀ

.物ヲ觀賞スルト云フト一寸不思 心議ニ考 人モ 7 p